



2009年(平成21年) 9月11日 金曜日

発行所: 十勝毎日新聞社
〒080-8688
帯広市東1条南8丁目
電話(代表) 0155-22-2121

H2B、初打ち上げ成功

国内最大規模 補給機を搭載

種子島

H2Aの第1段エンジンを2基に増強した国内最大のH2Bロケットが11日午前2時1分、種子島宇宙センターから打ち上げられた。約15分後に貨物船の宇宙ステーション補給機(HTV)を目標軌道に投入し、打ち上げは成功した。HTVには日本の地球観測装置や食料、衣類などが搭載されており、18日に国際宇宙ステーション(ISS)に到着する。(5面に関連記事)

陣が無事成功し、この調子で続けていきたい」と話した。現在の計画では、15年度まで計7回打ち上げる。

宇宙機構から既にH2Aを民間移管され、H2Bを共同

開発した三菱重工業の大宮英明社長は「これまで大きな衛星を打ち上げられず、お客さんの要望に応えられなかったが、H2Bでほとんど打ち上げられるようになる」と期待を示した。一方、スペースシャトルの退役を控える米航空宇宙局(NASA)のゲスフィンマイヤー氏は、HTVについて

「ISS計画の中で重要な意義を持っている」と高く評価した。HTVは今後、筑波宇宙センターからの遠隔操縦でISSに接近後、ISSのロボットアームに捕まえてもらい、ドッキング。物資をISSに搬入した後は、ごみを詰め、11月上旬に大気圏に再突入させる。南太平洋の上空ではぼ燃え尽きる見込み。

呼ばれ、オゾン層の化学物質などを観測する。伏見悦夫大樹町長の話「宇宙ステーションを活用するために物資の輸送は不可欠。日本から今回のようなロケットが打ち上げられたことは画期的だ。さらに有人でも、日本に国際間でリーダーシップを発揮してほしい。また、大樹での宇宙関連の実験に弾みがつけば」と話している。



無貨物船の宇宙ステーション補給機(HTV)を搭載し、打ち上げられたH2Bロケット。11日午前2時1分、鹿児島県・種子島宇宙センター

8月のH2A・1号機以来8年ぶり。HTVも新開発で、ともに初打ち上げだった。宇宙航空研究開発機構の立川敏二理事長は記者会見で「第1